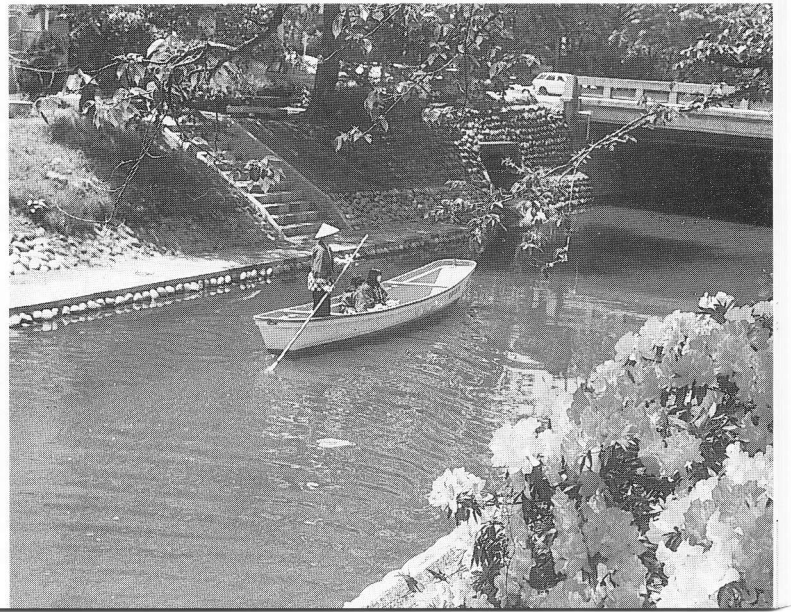
■グッドラック街づくりキャンペーン

松川を花と緑、水と文化の街 富山のシンボルに！

■座談会出席者（敬称略）

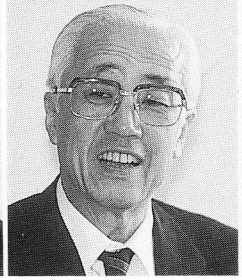
今村吉美（富山市観光物産課課長）
緒方　裕（富山県観光連盟副会長／富山地方鉄道㈱社長）
横江敏郎（㈶花と緑の銀行専務理事）
影近憲一（マリエとやま常務）
村石武久（富山市観光協会事務局長）
北山直人（㈲北山ナーセリー社長）
広島由里（'90ミス富山）

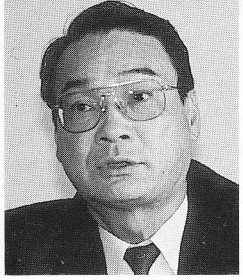
■司会　中村孝一（月刊グッドラック発行人）



街づくりを考える時、ぜひモデルにしたいのがニュージーランド第3の都市、クライストチャーチ。人口は富山市と同じ32万人。140年前に理想的な街づくりが精力的に進められ、庭園都市の名がある。都心の公園の中央を、松川と似たエイボン川が西から東へゆったり流れる。両岸には桜が咲き誇り、柳の緑が美しい街だ。

横江敏郎さん


緒方　裕さん


今村吉美さん

司会　御存知のように富山県は〝花と緑の日本一〟を目指し、富山市は〝水と緑と文化の街〟というスローガンを掲げています。今年開催された花と緑の博覧会でも、見る人に感動を与える演出が随所にみられましたが、今日は富山の中心を流れる松川を、名実共に街のシンボルにするためにはどうすればよいかがテーマです。

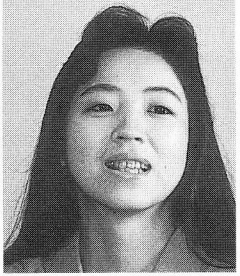
緒方　総論的に申しますと、こういった観光施設の展開は、長期的コンセプトに沿って行なわれるべきものですが、現在まだそういう議論がされていないように思います。グッドラックで行っておられる松川の遊覧船の運行は、富山の目玉としての地位を獲得しつつあり、その御努力にいつも感心しております。

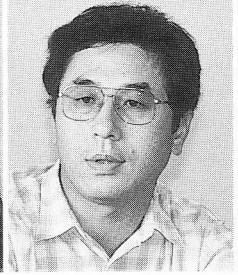
私なりに整理してみますと、二つの課題があると思います。一つは、市民の憩いの場所として生かすことです。工夫は要すると思いますが、散策ができて若干の飲食と賑わいがあり、市民に活用される場所であることが大切です。もう一つは、観光の目玉〝水の都〟の代表としての松川という見識を高めること。富山城の歴史的背景や文化的要素を生かしての街づくりが重要です。親水の庭をはじめ、ハード面では逐次整備されていますし、各種イベントも充実してきました。四季折々の松川を城址公園も含めてのエリアで、花と緑の演出をさらに展開していくことが大切だと思います。そして、基本が川ですから、水をきれいにする努力がまだまだ必要ですね。またゴミ箱の設置やトイレの美化も観光の脇役としては重要な課題ですね。

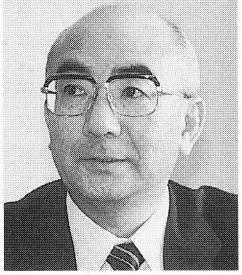
松川を中心として特に整備していただきたいと思います。

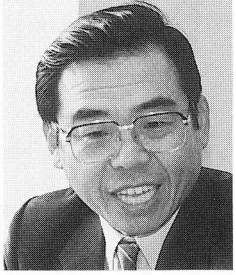
今村　駅の観光案内所に「小一時間あるんですが、どこへ行けば…。」という問い合せが多いそうですが、この辺りは丁度小一時間の散策コースです。特に富山は中心部にあまり名所がないですから、もう少し川の両岸を花や緑で整備し、年間を通して楽しめるものにしたいと思っ

㈱朝日印刷紙器


広島由里さん


北山直人さん


村石武久さん


影近憲一さん

ております。

北山　川の方は専門家ではありませんが、水の深さとか浄化は技術的には十分解決できるものと思っております。

植物というのはあまり無造作にプランターや花壇にベコニアパンジーなんかを植えていくとどの街も同じような感じになってしまうんですよ。それよりもっと自然に近い様な、それで強い様な宿根草とか芝生の中に入れておけば季節になると咲くようなもので、作られた街の中にあって印象的なものだと思うんです。自然の川が滔々と流れ、その両岸にある極めて自然に近い花々が舟が進むにつれて少しずつ変化する、そしてその間に見え隠れする数々の彫刻が文化の香りを漂わす、そんな風景に訪れた人の気持ちがなごむと思うんです。市民にとっても県外へ行っても誇れる憩いの場所になると思いますね。

憩いの場には飲食が不可欠

影近　私は二回程、松川の遊覧船に乗せていただいたことがあるんですが、上へ行くコースは桜の季節で非常にきれいでしたが、他県に宣伝できる様な本当にいい川というには、解決してほしいことが3つあります。まず一つは、遊覧船が川底につかえる様では全く風情がない、やはり水に揺られるという感じがないとだめですね。浚渫してもう少し深くしてもらいたい。もう一つは水が非常に汚いということです。松川は一級河川とかで簡単に手を加えることはできないそうですが、せっかくなら神通川のきれいな水をとり入れて、「水が青い」という感じを出せないものかと思います。そしてもう一つは何ヵ所かで暗渠が放出しているんですね。これが乗っているといかにも泥水をかけられる様な感じで非常にまずいんですよね。下水関係が見えないようにしてほしいということです。川が整備された時点で今お話がありました花なんかを植えるというのがいいことだろうと思います。

また、遊覧船と飲食をいっしょに行うとあそこ一帯が憩いのゾーンになると思います。

私が言いたかったのはこれが全てなんですけどね。（笑）

司会　一番痛いところをつかれましたが。（笑）先日、アグネスチャンが遊覧船に乗ったときにこんなすばらしい所は他にないと絶賛してくれました。また「おでんが食べられたら最高！」と言ってました。やはり何か遊覧船の内外で食べられるといいんじゃないかと思いますね。

村石　確かに松川というのは富山市内の観光の目玉になってきていると思います。特に58年に〝水と緑のプロムナード〟ということで彫刻公園が完成してからは、四季の景観に文化性が加

（写真／ＪＴＢ富山支店提供

越路銘菓
とこなつ
本舗 大野屋
高岡・富山・金沢

わりさらに充実してきました。これには私も携わっていたのですが、28基の作品はもとより、各テーマを刻んだ黒みかげ石の文字も県内の著名書家の方々の手によるものです。彫刻と書の両面から格調高い文化の香りが感じられるものなんですね。観光の帰りに案内所へ寄って「大変良かった」と声をかけて下さったりと、とても嬉しい報告も聞いております。また今年から観光バスコースの最終地点に松川べりを設定する等、さらに盛り上げようと考えてやっております。

司会　遊覧船の試乗会の時に、フランソワーズ・モレシャンが舟の中から彫刻を見つけまして「とっても素敵ですね」と感動してました。緑の木陰に彫刻が丁度マッチするんでしょうね。

横江　私は花についての専門知識はあまりないんですが、やはり観光面ですとか市民の心のよりどころという面からみましても、先程からの御意見にあります様に四季折々の花が斜面を彩るといいと思います。春なら水仙、秋なら彼岸花なんか、いかにも自然的でいいですね。

広島　私も専門的なことはわかりませんが、市内に勤めているので松川沿いはよく歩きます。橋の上から見る桜並木がすごく綺麗ですね。先程から利用している一市民として気づくことを思い出していたんですが、御花見の時のことです。川辺りの明るさに比べて城址公園には灯りが少く、暗くて困りました。御花見のシーズンだけでも臨時の街灯を設けられないものでしょうか。また近辺のトイレが大変汚いのにも閉口しました。それと今年ミス富山になって市内勉強のため、観光バスに乗せていただいたんですが、その時初めて常夜燈の存在を知りました。歴史的価値のあるものなのでもっとPRすればいいと思いました。また城址公園内の花壇の手入れもきちんとすればいいですね。

"荒城の月"の名曲が流れる文化の香り高い街に！

司会　人間には五感が備わっているので、街の風格として、目に見えなくても伝わってくるものってあると思うんです。例えば水郷で知られる福岡の柳川は北原白秋の生誕地なんですね。彼が実際活躍したのは東京なんですが、生まれた地ということで大々的にPRしていました。富山も日本を代表する作曲家滝廉太郎がこの地に住み、「荒城の月」をはじめとする数々の名曲を作曲する際、大きな影響を受けたということを、もっと市民が誇りにして良いと思います。文化の香り高い街づくりを今後観光面にもっと取り入れていくべきと思います。

緒方　私は、県の「文化の県づくり懇話会」の座長を務めさせていただいているんですが、その席で利賀村の鈴木正さんが、開口一番「文化とは消費が伴うものだから、金を使わなきゃ文化は育たない。富山の人は貯める方は日本一だが使う話は全然しない」とおっしゃったのが今でも印象に残っています。ハード面的な文化の香りという意味

▼遊覧客で賑わうベルギーのブルージュ

サクラパックス㈱

ではお金をかけるという気構えでなければいけないと思います。精神論の方では、滝廉太郎に着眼されたのは、大変よいと思いますので、市民が理解できる様大いにPRしなければならないと思いますね。何か大分県と本家争いみたいになりましたが、確たる証拠もないのですから、言い出しっぺが勝ちです。市民の言い伝えで、2代3代後には本当になってしまうと思います。

過去の座談会でも発言があったと思いますが、城址公園内に曲水をとり入れ、さらに富山市全体として、曲水的感覚をとり入れるとよいと思います。

ニュージーランドにクライストチャーチという街があるんですが、市内にはエイボン川という水量豊富な川がうねうねと流れているんです。水の流れはゆるやかで河辺は芝草が敷きつめられ、柳などの巨木が枝葉をふさふさせており、川面には鳥が浮び芝の上にも鳥が散策し、そこでは恋人たちや若い夫婦がベンチに腰かけ語らっている。こんな風景が富山でもみられたら素晴らしいですね。その為には、松川だけでは狭いので、いたち川、運河、岩瀬に致る所までのばし神通川から水をとり入れ、水流の調節が必要ですね。川遊びができて、本当に市民が憩える、そういう街づくりを目指したらよいと思います。

今村　今考えているのは松川に架かっている橋の整備です。歴史的背景や地名にちなんだ橋の名前を付けたりすると、市民の方々にもより親しまれる様になると思います。

司会　ベネチアにある橋のようにロマンチックなエピソードなんか創作していくのもおもしろいですね。

村石　市民の方は他県の人に富山の見所を聞かれても「富山は見るところがないですね」と答える人が実に多いんです。私たち観光に携わる者はそういった市民の方に、もっともっとPRしていく必要があると思っています。

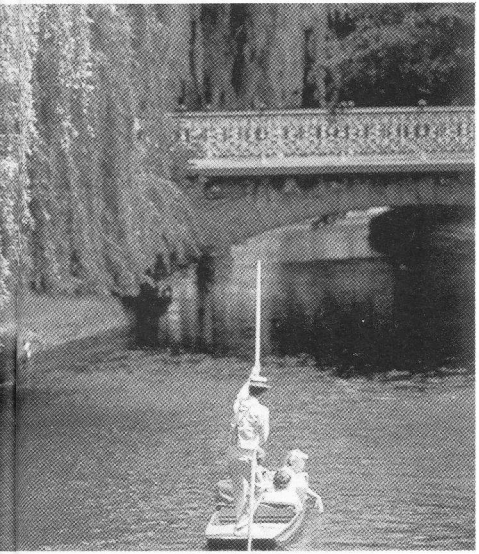
司会　金沢では、主要道路の案内標識に雪見燈籠（ろう）のマークを入れ、その通りに行くと兼六園に行けるんですね。富山市も松川の遊覧船が街のシンボルになってきていますので、各主要道路に遊覧船をデザインした案内標識を設けると県外からいらっしゃった方が松川を見つけやすいですね。

文化は創造すべきもの

影近　文化について私はいつも思うのですが、文化というのは作ればいいんですよ。人を羨しがる必要はないんです。

〝富山は売薬〟というけど、その原料はほとんど地元で採れない。誰かがいつの時代にか作りそれに付加価値をつけ、全国へ販路を開拓しそれが伝統産業にまで成長していったことを考えれば、今からでも富山の文化を作り出せば良いのじゃないかと思いますね。例えば利賀村の演

▼クライストチャーチ・エイボン川にも遊覧船が行き交う。



写真／ＪＴＢ富山支店提供

劇にしても全く作ったものですよね。私は県内の若手演奏家の力を借りて何かできないものかと思うのですがね。とにかく他県がやっていないものをやれば良いというのが私の結論です。

司会　花や緑も文化の一つだと思いますが、北山さんどうですか。

北山　普通園芸文化といいますが、花と緑の役割は人が集うためのステージ作りだと思うんです。いいステージの中で人々が色々な文化を作っていくんだと思うんです。特に富山は戦後、碁盤目状に整備されており、街全体を公園的に見るならば、その中心を流れる松川を曲水的な存在として考えることは、ひじょうにすばらしいことです。松川をバックに写真をとりたいと思う様ないいステージになればいいなと思っています。花や緑はお金だけでなく時間がかかりますから、少しでも早くとりかかる仕事じゃないかと思います。具体的にいうと木ですね。川にかぶる様な大きな木というものは時間をかけて育てるしかないですからね。

司会　最近、日本テレビ、フジテレビ、テレビ東京、テレビ大阪等が〝富山の情緒が味わえる松川の遊覧船だ〟と競って取材に来ています。県外の人が富山の良い所を発見し、持ち返り、それを知った人々がまた富山にやってくるわけです。

富山県民は経済優先の傾向が強いようですが、町の魅力というのは機能性だけでなく、遊びの要素や、花や緑が存在してこそ出てくるものだと思います。

緒方　桜は四季折々に活躍していることを認識してほしいと思います。紅葉の桜、新雪の桜並木もすばらしいものです。

できるできないは別として、ミニ舟橋の実現はおもしろいと思いますね。子供たちは〝舟橋〟というイメージがわからないので、いい演出になるでしょうね。

村石　これだけ色々な施設が整備され、遊歩道もできたんですけど、やはり松川の水量が少ない。四季を通じてきれいな水が流れていることが大切ですね。

今村　松川というのは貴重な財産ですから、みんなで守っていかなければならないと思います。私共も少しでも多くの方に来てもらうようにしていきたいです。

広島　芸術的にも市民が憩える要素がたくさんあるのだなあと勉強させていただきました。せっかくですので、もっともっとたくさんの方にＰＲしていただきたいですね。

影近　「荒城の月」の故郷、というだけで文化の街のイメージがぐーんと出てきます。いっそのこと滝廉太郎の銅像を新しく作ったらどうですか。作った方が勝ちなんですから。

緒方　今の滝廉太郎の碑も、どこにあったら一番アピールするのか検討すべきだと思いますね。

影近　銅像じゃなくても石碑でもいい。

今村　例えば橋の欄干に文章でアピールするとか、タッチセンサー式なものでメロディーを流すとか。

横江　富山のシンボルとしての松川は、市民の憩いの場所として多様な楽しみ方ができる様になればよいと思います。

北山　滔々と流れる水が文化を育てていくと思います。周りの自然はお金と時間がかかるものですから、時間をかけて早めに育てるものと、大きなお金でみんなの力でやっていくものを分けて市民全員が提案していく、という環境作りをしていってほしいと思います。

司会　「富山を見て死ね」と云われる位の街にしていきたいですね。

日本医薬品工業㈱